

求める会ニューズ No. 969

9月全体会報告

9月18日(水) 10:00~12:30

検討事項

1. 会の今後に向けての具体的な動きについて

・8月30日、高木さん、池野さんを訪問。宅配でお米をいただくことが可能か聞く。→高木さん、池野さんとも、現在でも年間契約で消費者に米を送っているので宅配は可能。詳細は2面に報告。

・10月22日(火)、大徳醤油の浄慶さんとの話し合いを予定。

2. 収穫感謝祭について

11月16日(土)、昨年と同じくマルシェ方式で行う。催し物はセンター職員・大和さんのミニコンサート。多くの方のお手伝い、即売品(お菓子、つくだ煮)づくりをお願いしたい。

3. ゲノム編集における問題の勉強会について

勉強会を提案していたちびくろ保育園の田中さんが、消費税増税反対運動で多忙のため、しばらく棚上げに。

4. 10月26日(土) 芦屋・宮塚公園のマルシェについて

芦屋市とNPOフライパンがマルシェを開催。事業部の缶ジュースを売ってもらう。

報告事項

【生産者担当】*野菜: 大コンテナ73、小コンテナ282、計355。

・9月の高温で夏野菜が育つ。冬瓜は今年はイノシシにやられず順調。端境期は遅

れそう。

・8月30日、市有研との話し合い。9月は話し合いはナシ、消費税増税が野菜の値段にどう反映されるか、卵のプラスチック・パックを紙に変えることについては10月に話し合うことに。

*卵: 産卵は盛んとまではいかない。

*米: 稲刈りを始めている。池野さんは昨年までの豪雨被害の整備が遅れ、収穫は5割に。求める会に出す以外の圃場で4割の米が獣害にあった。

・消費税アップにより、米の値段は変わらないが、宅配価格が100円余値上げになる。

*大豆: 順調に生育、昨年より良い。

*牛・豚: 配送費、パック代値上げが予想される。

*果物: サンサが傷んでいた。→値引きする。早生のリンゴは傷みやすいので、すぐ冷蔵庫に入れてほしい。

【会員担当】会員数207人。秋の地域集会は10月下旬から順次実施(詳細は4面に)。

【事業部担当】いつもの即売品のほか、藤本水産の返りちりめん、ゆづるは百姓連のスタチ、庄内ファームのただちや豆。

【広報担当】ニュース印刷日、9月27日(金)。

【学習研究担当】9月22日、大豆畑トラスト・枝豆収穫祭(詳細は3面に)。

【その他】・ゲノム編集についての署名224名集まりました。

・大飯原発訴訟の樋口英明・元裁判長の
講演録の冊子（300円）が事務所にありま
す。残部少。希望者は飛田さんまで。
・俵養蜂場のTV放映のDVD鑑賞：日本

で唯一のミツバチの獣医さんの話。
・10月全体会は10月16日（水）。司
会・小浦、当番・花岡、村川。

生産者を訪ねて ～高木さん、池野さん～



訪問日：8月30日（金） 14：30～16：00

生産者：高木さん、池野さん

求める会：飛田、小浦、高橋、西、岩本

豪雨の中、小浦さんの車で学生センターから市島へ出発。お昼からの市島との通常の話し合いの後、高木さんが設定して下さった「おばちゃんのお店」で話し合いを持ちました。お二人には飛田さんから「求める会」の現状と今後についての説明がされ、理解していただきました。

「求める会」の事務作業が出来なくなった場合、高木さんも池野さんも主体的に注文、配送、請求をして下さることは可能だということです。

高木さんは現在でも「求める会」以外の方とは年間契約をしており、柔軟に対応をされているようです。支払いに関しても一回ごとの方や年間一括で支払う方など色々あるとのことでした。高木さんには味噌用の大豆もお願いしているので、その件に関しても年間注文の際、一緒に注文を取れば何とかなるのではということでした。

池野さんは今、LINEで文を受けたり、プリペイド支払い等のキャッシュレス決済などもされています（進んでいますね）。しかし、私たち用に年間一括注文も振込支払いも可能とのことでした。

その後、高木さんから有機農業に「土」がいかに大切かを熱く話していただきました。池野さんも畑を提供して、子育て中のお父さんと一緒にサツマイモ作りをしておられるそうです。
(松浜G 岩本美樹子)

市有研との話し合い

8月30日、小浦さん（野菜係）の車で、岩本（副代表）、飛田（副代表）、高橋（ジェームス山G）、西の5人で行ってきました。場所はライフピアいちじま。

一色さんはかねてから言われていたように、求める会のコンテナ配送と並行してやっておられる個人配送が順調なので、求める会が万一共同購入できなくなっても会員が希望すれば野菜をもらうことも可能のようです。

橋本さんは、有機農業として消費者との提携を大事にしてやってきたので、求める会は是非とも存続してほしい、万一共同購入できなくなったらあしの会と共同で配送をつづけたいとの考えのようです。

あしの会の夏休みによる宅配は酷暑と台風のため時間通りに届かなかったり、卵だけ別に届いたり、大いに混乱しました。35℃を超すと野菜は急速に悪くなるそうで、キュウリがぐずぐずの状態が届いたという苦情も伝えました。冷蔵状態から猛暑のなかでの配送でキュウリも持ちこたえられなかったのでしょうか。ツルムラサキは特に好き嫌いの激しい野菜のようですが何回か配送されてくるようです。

(武庫之荘G 西 威子)

大豆畑トラスト・枝豆収穫祭 ～納豆作ってみました～

2019. 9. 22

台風まで来そうで寸前まで気をもんだ今年の枝豆収穫祭でした。小ぶりの雨の中、44人の大人と子供でワイワイガヤガヤと畑で約1時間枝豆の収穫。

時期が少し早くて枝豆のふくらみが足りないと感じましたが、味はしっかりしていたし、収量も例年通りになるだろうと聞きホッとしました。公民館に戻ってからは納豆用の藁苞（わらづと）作り。講師はあしの会で扱っている納豆を作っておられる池田さんご夫婦。子供さんに美味しい納豆を食べさせようと始めた納豆作り。「食べた知人から納豆屋さんになれと言われてなったけど、ご近所からは、あれで商売になっているのか？と心配されたこともありましたが、アハッハ」と池田さん。このお母さんが作った納豆なら納豆菌も元気だろうなと思わせる笑顔でした。たくさん失敗しては、「どうしてだろう？ どうすればいいのだろう？ と考えてきました」とのこと。

藁苞ができたところでお昼ごはん。採りたての枝豆、豆腐に納豆、ご飯に味噌汁、いつも楽しみな山内さんちのおかず。お腹も満足したところでいよいよ豆の仕込み。雑菌の消毒と藁を湿らすために藁苞を茹でたあと、まだ湯気が出ているような豆を包み込んで冷めないうちに持参の保温バッグに。約60℃のお湯を入れたペットボトルを一緒に入れて20～24時間、約40℃に保温。“納豆作りは一にも二にも温度管理”。一旦温度が下がると雑菌がつき、その後温度をあげても駄目。翌日、藁苞をあけてみると糸を引いていました。ちなみに池田さんの納豆の場合、食べごろは賞味期限を少し過ぎたぐらいとのこと。

次は11月末に市川町で大豆の収穫祭。皆さんも採れたての美味しい大豆を経験しては如何ですか？
(学習研究班・松並G 池田 真知子)

プラスチックの話

廃プラスチックの処理はどうなっている？

家庭ゴミは「一般廃棄物」として自治体が回収するが、店や会社からのゴミは「産業廃棄物」として民間業者が別のルートで処理している。家庭ゴミも産廃も処理する方法はほぼ同じ。

ペットボトルのリサイクル率は約85%でスーツや食品トレーに生まれ変わる。だがプラスチックには様々な素材があり、違う素材が混じるとリサイクルは難しい。それで廃プラの半分以上は燃やしてその熱を発電や暖房につかっている。

廃プラは家庭ゴミと産廃合わせて国内で年間約900万トンの出ている。そのすべてを安くリサイクル出来るほどの施設が国内にはなく、中国や東南アジアにリサイクル資源として年に100万トン輸出してきた。だが、輸出先で放置されて海に流れ出るなど環境問題が起きて輸入を規制する国が出てきた。

廃プラの輸出を規制する国はさらに増える。5月にバーゼル条約（ダイオキシンなど危険・有害な廃棄物を厳正に監視する）の付属書が改正されて、2021年からたばこの吸い殻が入ったペットボトルなど「汚れた廃プラ」の輸出入の規制が始まる。

今後は適切に処理できる体制を整えるとともに、レジ袋やペットボトルの使用を減らすといった私たちの暮らし方を見直す必要に迫られている。

(武庫之荘G 西 咸子)

10月のカレンダー

- 10月9日(水) 部会
- 10月16日(水) 全体会
- 10月20日(日) 共同購入申込締切日
- 10月21日(月) 自動引き落とし日
- 10月23日(水) 食料環境セミナー



10月全体会議題

- ①会の今後に向けての具体的な動きについて
- ②収穫感謝祭について
- ③ 10/26(土)芦屋の宮塚公園マルシェについて
- ④影山製油所からのクラウドファンディング協力依頼について

秋の地域集会 ♥ご都合のよい会場にお出かけください

	日時	会場	連絡先
宝塚	10月29日(火) 9:30~11:30	宝塚教会 会議室 阪急逆瀬川駅北西500m	今田
尼崎・西宮・芦屋	10月31日(木) 10:00~12:00	男女共同参画センター414号 プレラ西宮4階(阪急西宮 北口駅南改札口より徒歩200m)	尾園
東灘・灘・中央	10月30日(水) 10:00~12:00	神戸学生青年センター 会議室D	岡部
兵庫・長田・北区	10月21日(月) 14:00~16:00	神戸市立湊山地域福祉センター 神戸駅⑦市バス 石井橋下車	明松
須・磨・垂水・明石 加古川・高砂	11月2日(土) 10:00~12:00	アスパア明石 学習室704B JR・山陽明石駅 東南へ徒歩3分	村川

♥テーマは求める会の今後のこと、収穫感謝祭のことです

豚コレラのこと

大浦さんの豚舎の様子をうかがいました。今のところ和歌山県では発生していないのでワクチン接種はしていない。イノシシ防護のため防護柵を設置し、県指導で豚舎の周りに消毒用に石灰をまいている、ということでした。感染して殺処分するような事態にならないようにと、大変心配されていました。

「あなたの体の中の遺伝子は誰の物ですか？」—生命特許と遺伝子組み換え—の冊子をお届けします。是非目を通してください。(研究部)

食料環境セミナー

「有機農業で未来を拓く — 身土不二(地元のものを食べて健康に)で自然と共に生きよう —」

10月23日(水) 10:30~12:00

國學院大學名誉教授 大崎 正治さん



第42回 収穫感謝祭 雨天決行 入場

2019年11月16日(土) 10:30~



展示
「遺伝子組み換え」と
「ゲノム編集」



マルシェ 10:30~13:00



フランス大和さんの
ミニコンサート

13:00~14:00 (無料)



手作りケーキと
コーヒー・紅茶
おうすと手作り和菓子

- *市有研 *リンゴ・ミカン *影山製油所
- *丹波乳業 *葉香製茶 *あしの会
- *大徳醤油 *俵養蜂場 *高木・池野さん
の米・大豆 *有機野菜を使ったお弁当
- *手作りケーキ・お惣菜



健康チェック
(ろっこう医療生協)

10:30~12:30



芥川さんの陶器市

★イートインコーナーあり!